信州大学 大学史資料センター企画展

信州大学のなりたち

― 創立を夢見た明治から現在までの歩み ―

主催：信州大学 大学史資料センター　信州大学附属図書館

2019年、本学は創立70周年を迎えました。その企画展では、70年前の開学に焦点をあわせ、前身校の歴史、大学設置運動の様子、開学への歩みなどを展示しました。今回の展示は、開学に至る状況に加え、その後確立した本学の各学部とキャンパスの様子を展示し、本学の成り立ちをコンパクトにまとめました。本展示が信州大学の成り立ちに思いを馳せ、本学の今後の方向性を考える上で、ヒントの一つとなることを期待します。

上田繊維専門学校

長野県立農林専門学校

長野工業専門学校

（前身校の歩み）

1873年	筑摩県師範講習所、長野県師範講習所設置。長野県師範学校を経て松本女子師範学校と合わせ1943年、長野師範学校設置。
1910年	上田蚕糸専門学校開校（のち、1944年上田繊維専門学校に改称）。
1918年	長野県実業補習学校教員養成所設置。長野県青年学校教員養成所（1935年）を経て、1944年長野青年師範学校設置。
1919年	松本高等学校開校。
1943年	長野高等工業学校開校。1944年長野工業専門学校に改称。
1944年	松本医学専門学校開校
1945年	長野県立農林専門学校開校。

（戦後）

1947年	日本国憲法、教育基本法、学校教育法施行。新制国立大学設置の動き本格化。長野県内では、上田繊維専門学校、長野県立農林専門学校を中心に、単科大学昇格の動きが生まれる。
1948年2月	松本医科大学開校
1948年4月	長野県高専校長（県内旧制高等学校・専門学校・医科大学の校長）会議開催。新制大学設置に向け、基本方針を決め準備作業を開始。
1948年6月	文部省、1県1大学など11項目にわたる国立大学設置の基本条件を提示。
1948年7月	信州大学設置認可申請書を文部省（大学設置委員会）に提出。

（信州大学の歩み）

1949年5月31日	国立学校設置法公布。同日付で文部省学校教育局長は信州大学設置責任者あて、信州大学設置が大学設置審議会で認められたことを通知。
1949年6月1日	信州大学開学。
1950年10月30日	開学式挙行。
1953年	初めての合同入学式（文理学部講堂）。
1953～54年	大学の管理運営体制整備（評議会・教授会・学長選挙など）。
1966年	文理学部を人文学部・理学部に改組。教養部の設置（教養課程を松本で実施）。
1969年	大学紛争（人文学部講堂、本部、教養部封鎖）
1978年	人文学部を人文学部と経済学部に改組。
1988～93年	SUNS設置、整備。
1995年	教養部を廃止、共通教育センター設置。2006年全学教育機構設置。
1999年	50周年記念事業
2002年	医学部保健学科設置。
2004年	国立大学法人化
2009年	創立60周年記念事業
2016年	経済学部を経法学部に改組。
2017年	大学史資料センター設置。
2019年	創立70周年記念事業

松本高等学校

長野師範学校

長野青年師範学校

松本医科大学・松本医学専門学校

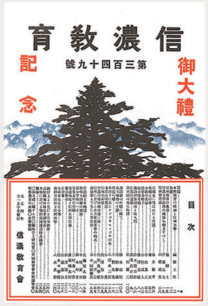
お問い合わせ先 ｜ 信州大学 大学史資料センター（松本キャンパス内）
TEL：0263-37-3531／FAX ：0263-37-3532／E-mail：archives@shinshu-u.ac.jp(平日9：00～16：00)

信州大学のはじまり

明治以降、長野県内各地に高等教育機関が設立されるなかで、信州大学の設置運動も大きな盛り上がりをみせ、戦時下においても止むことはなかった。

詩　信州大学
1907(明治40)年頃
三石勝五郎『詩伝　保科五無斎』
所収(高麗人参酒造株式会社　1967年)

長野県師範学校出身の教育者保科百助(五無斎)は、その晩年、長野県に図書館、博物館、高等学校、大学などを設置すべきだと主張した。「信州大学」を桔梗が原(現在の塩尻市)に建てようと願う詩が収められている。



村松民次郎
「本県教育の精神と信州大学」

1915(大正4)年『信濃教育』349号
中央図書館蔵

『信濃教育』編集主任の村松が、長野県に大学を設置する必要性を論じた論文。すでに「信州大学」の名前がみえる。

信州大学の誕生

1948年秋から冬にかけ、開学の準備が進められた。学生の募集については、大学案内や入学志願者募集要項が作成され、入学志願者に届けられた。1949年5月31日、国立学校設置法が公布・施行され、新制国立信州大学が発足した。開学記念日は6月1日とした。

大学設置認可申請書
(県立農科大学)

1948(昭和23)年5月
大学史資料センター蔵

長野県農林専門学校の「県立農科大学」昇格を目指して、長野県知事が文部省に提出した申請書。教養課程を信州大学で履修することを前提としている。

上田繊維大学設置認可申請書

1948(昭和23)年
大学史資料センター蔵

上田繊維専門学校が「上田繊維大学」昇格を目指して、文部省に提出した申請書。最終的には、教養課程を繊維学部単独で持ちながら、信州大学へ合流した。

信州大学創設関係資料

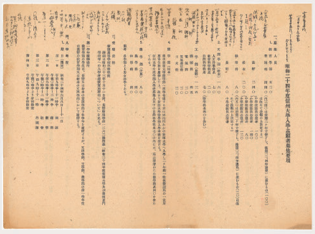
1943～51(昭和18～26)年
大学史資料センター蔵

大学設立に関する書類群。11冊が現存している。文部省に提出する設置認可申請書を作成するための準備書類(下書き、書類様式、文部省通知など)がまとめられている。

文部省学校教育局長開学認可通知

1949(昭和24)年5月31日
大学史資料センター蔵

信州大学設置申請について、大学設置委員会による認可の答申内容を通知したもの。松本市に本部を置くことや、6学部13学科とすることが明記されている。通知の宛先「新州大学」の「新」は誤字。



昭和二十四年度
信州大学入学志願者募集要項

1948(昭和23)年度　教育学部蔵

信州大学第1回入学試験に関する募集要項。

信州大学文理学部印

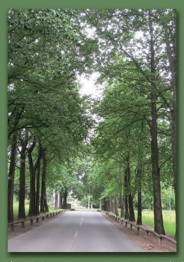
1949(昭和24)年頃　人文学部蔵

信州大学文理学部の印。正確な作成年は未詳。

各キャンパスの植栽

松本キャンパス　ケヤキ並木

松本医学専門学校初代校長の竹内松次郎は松本歩兵五十連隊跡地であった広大な構内の植樹計画を立て緑化を推進した。1946(昭和21)年に当時のメインストリートの両側にケヤキ苗を植えた。ケヤキ並木はキャンパスのシンボルとして今に受け継がれている。竹内の手記には1949年4月までに落葉松、枝垂柳なども植えたことが記されている。



伊那キャンパス　ゆりの木並木

1954(昭和29)年と1957年に植えられたゆりの木は、正門から続く並木道となっている。森林に囲まれ農学部を代表する景観のひとつとして、地域の人々にも親しまれている。

上田キャンパス　果樹(柿)

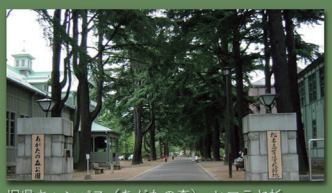
上田蚕糸専門学校初代校長針塚長太郎が、全国から親元を離れて集まった学生たちが食べるものに困らぬようにと、果樹を植えたと伝わる。現在でも柿、胡桃、ザクロなどの木が見られる。

長野(教育)キャンパス　ヒマラヤ杉

かつて、キャンパス内には付属小・中学校もあり、桜、松、銀杏、ケヤキ、ポプラなど様々な木々が植えられた。現在でも、多くの木々が残り、大きく育っている。

長野(工学)キャンパス　南門のポプラの木

グラウンドや校地の周囲に境界木として植えられたポプラの木は今も数本が残る。現在は銀杏、桜、藤などの様々な木々が育ち、潤いをもたらしている。



旧県キャンパス(あがたの森)　ヒマラヤ杉

松本高等学校第2代校長大渡忠太郎により植樹されたヒマラヤ杉の並木が現存する。正門から続くメインストリートに60本ほどが残されている。

キャンパス今昔

松本キャンパス

人文学部　経法学部　理学部

1919(大正8)年に設置された松本高等学校は、人文学部・経法学部・理学部の前身校。松本高等学校の伝統を引き継ぎつつ、各学部が独自の理念で教育・研究を展開している。

人文、経法、理学部 沿革

- T8 官立 松本高等学校
- S24 信州大学 文理学部
- S41 人文学部
- S53 人文学部
- S53 経済学部
- H28 経法学部
- S41 理学部

落成記念寫眞帖

1922(大正11)年10月　中央図書館蔵

旧制松本高等学校の校舎落成記念として作られた写真アルバム。巻頭には、松本中学校(現:松本深志高等学校)の校舎を間借りしていた開校当初からの念願であった校舎新築への喜びが記されている。

医学部

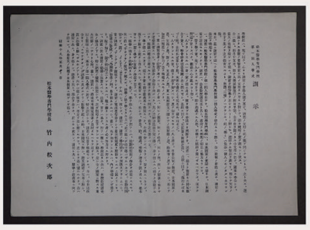
1944(昭和19)年、第二次世界大戦下における医師不足を補うために設立された松本医学専門学校は、医学部医学科の前身校。世界に通用する医療技術を身に付けるための教育と、先端的な医療・研究を展開している。1974(昭和49)年に医学部保健学科の前身校、医療技術短期大学部が併設された。"人"に深い関心と思いやりの心を持つ、高度な保健・医療分野の専門職を育成している。

医学科 沿革

- S19 官立 松本医学専門学校
- S23 官立 松本医科大学
- S24 信州大学医学部医学科

保健学科 沿革

- S4 松本市立病院附属 看護講習所
- S20 松本医学専門学校医院 看護婦講習所
- S25 信州大学医学部附属 甲種看護養成所
- S49 信州大学 医療技術 短期大学部
- S41 信州大学医学部附属 衛生検査技師学校
- S47 信州大学医学部附属 臨床検査技師学校
- S38 信州大学医学部附属 助産婦学校
- S52 (信州大学医療技術短期大学部) 助産学特別専攻
- H14 信州大学 医学部保健学科



松本医学専門学校第１回入学式訓示

1944(昭和19)年5月10日

大学史資料センター蔵

1944年4月1日、医学部の前身校、松本医学専門学校は開校した。16日の一次試験、24・25日の身体検査・人物考査を経て、26日合格発表。校舎が定まらない中、第1回入学式が5月10日に松本高等学校講堂を会場に挙行され、竹内松次郎初代校長は、8項目にわたる訓示を行った。

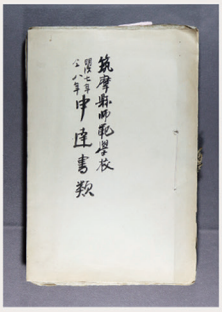
長野(教育)キャンパス

教育学部

1873(明治6)年、当時の旧長野県と筑摩県にそれぞれ師範講習所が設けられたのが、教育学部の始まり。教育県としての長い歴史を受け継ぐ教育学部は、県内外に多くの教育者を送り出している。

教育学部 沿革

- M6 筑摩県 師範講習所
- M8 筑摩県 師範学校
- M6 長野県 師範講習所
- M8 長野県 師範学校
- M16 長野県 師範学校
- M38 松本女子 師範学校
- S18 官立長野 師範学校
- T8 長野県 実業補習学校 教員養成所
- S10 長野県立 青年学校 教員養成所
- S19 官立長野 青年師範学校
- S24 信州大学 教育学部



筑摩県師範学校明治七年同八年申達書類

1874～1875(明治7～8)年　教育学部蔵

1873年5月設立の筑摩県師範講習所は翌年10月、同師範学校と改称した。本資料は、学生に対する免許状の交付に関する記録である。本学所蔵資料のなかで、最も古い資料である。

長野(工学)キャンパス

工学部

1943(昭和18)年、第二次世界大戦下における工業技術者確保のため、工学部の前身となる長野高等工業学校が設立された。工学部は再生日本の産業立国への寄与と長野県産業への人材供給を目的として設立され、現在は、科学技術と環境保全との調和に深く関心を持って人類社会に貢献する人材を育成している。

工学部 沿革

- S18 官立 長野高等工業学校
- S19 官立 長野工業専門学校
- S24 信州大学工学部

信州大学工学部設置申請書

1948(昭和23)年7月　工学部蔵

1948(昭和23)年7月、信州大学設置認可許可証が文部省に提出された。工学部の申請書のみが現存している。設置要綱や学則、校地の図面をはじめ、講座の構成や履修方法等、現在の工学部の礎となる規範が記されている。

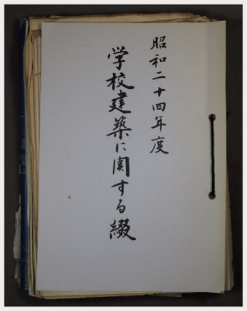
伊那キャンパス

農学部

1945(昭和20)年、第二次世界大戦下における農産体制増強のため、農学部の前身となる長野県立農林専門学校が設立された。キャンパス内に演習林を持つほどの、広大で恵まれた自然環境のもと、日本の生命・食料・環境を支える教育・研究に取り組み、農と食にまつわる産業を豊かにする卒業生を輩出している。

農学部 沿革

M44 長野県立 上伊那農業学校 ― S20 長野県立 農林専門学校 ― S24 信州大学農学部



長野県立農林専門学校書類

1944～1953(昭和19～昭和28)年

農学部同窓会蔵

1945年4月1日、農学部の前身校、長野県農林専門学校は開校した。校舎や施設などが整わないなか、伊那商業学校などの校舎を借りてスタートした。関連する資料は1944年の設立準備資料から、1953年までの主に設備の整備等に関する資料である。この資料には、信州大学農学部に合流する過程で準備した施設関係の地図や文書が綴られている。

上田キャンパス

繊維学部

1910(明治43)年、蚕糸に関する最初の高等教育機関として、繊維学部の前身となる上田蚕糸専門学校が設立された。繊維学部は日本で唯一、本学だけにしかないユニークな学部で、伝統的な科学技術を基盤に、先端科学技術の展開を図り、さらにはそれらを支える人材を育成している。

繊維学部 沿革

M43 官立 上田蚕糸専門学校 ― S19 官立 上田繊維専門学校 ― S24 信州大学繊維学部

上田蚕糸専門学校開校式紀念絵葉書

1913(大正2)年

繊維学部蔵

繊維学部の前身となる上田蚕糸専門学校の開校式の記念に作られた絵葉書。開校当初の様子が分かる。

寄贈資料の紹介

文理学部　ベルトバックル

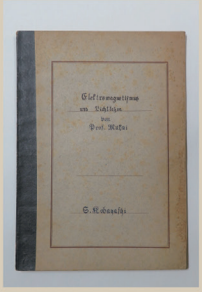
思誠寮記念祭絵葉書

長野工業専門学校
ベルトバックル

工学部
ベルトバックル

演劇部パンフレット・入場券

信州大学　校章



講義ノート

大学史資料センターに卒業生・大学関係者等より寄贈された資料。信州大学に関する貴重な資料を収集・整理・保存するとともに、歴史資料として公開・展示するため、企画展などを開催しています。

大学史資料センターではみなさまからの情報提供をお待ちしております

信州大学は、2019年に迎えた創立70周年を機に、本学の歴史に関する資料の体系的な収集・整理・保存・公開・展示等を担う組織として、2017年4月に信州大学大学史資料センターを設立しました。70周年記念事業の総括をふまえ、新たなミッションとして「信州大学100年史の編纂」を行うこととなりました。
みなさまからの本学の歴史に関する文書、写真、記念品などの歴史的資料と、それに関する情報のご提供も随時受け付けております。

お問い合わせ先
信州大学 大学史資料センター
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
TEL：0263-37-3531
FAX：0263-37-3532
URL：https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/library/archives/
E-mail：archives@shinshu-u.ac.jp
(平日 9:00 ～ 16:00)